



日常生活に活かせる！外部専門家からのアドバイス



学校では、自立活動の充実や教員の専門性向上を目的に理学療法士（PT）、言語聴覚士（ST）、作業療法士（OT）の方に来校していただき、助言をいただいております。そのうちの一部をご紹介します。

「感覚運動遊び～遊具を使って～」

（作業療法士から）



遊具遊びは、その子にとって最も受け入れやすい感覚刺激を探り、好ましい反応を引き出すことです。「楽しい！」気持ちになることに加えて、身体機能・認知機能等にもメリットがあります。バランスボール一つとっても、座位による体幹強化、うつぶせによるリラックス効果、カウントダウンをしてから揺らすことでの認知面の強化など、遊具の具体的な取り組みがあります。遊具を有効に使って、楽しく遊びましょう。

※各担任は、作業療法士や理学療法士から、子どもたちそれぞれに合った感覚遊びやリラックス効果のある姿勢等、助言いただいております。ご家庭で楽しく安全に取り組める内容があるかご確認いただければと思います。

「車いすパーツへのアドバイスを紹介します」

（理学療法士から）

※個別相談の内容から抜粋しました。

参考にお読みください。



○ベルトについて

- ・姿勢保持のため、腰ベルト・胸ベルトはしっかりと締めてください。ゆるんでいると、体幹が崩れて身体の安定性が悪くなってしまいます。

○バックサポートについて

- ・バックサポートの張りが弱いと、骨盤が後ろに傾き、背中が丸くなってしまいます。張りを強くすることで、骨盤が起き、背中も伸ばしやすくなります。

※車いすの各部の名称は、裏面の参考資料をご覧ください。

お子様がより「伝えたい」と思うようになるためには（言語聴覚士から）



発声言語があってもなくても、言葉以外の手段で(も)、何かを表現しています。

話言葉だけではなく、身振り・視線・表情・声など様々な手段による子どもの主張を受け止め、お子様が伝えたいと思ってくれる相手になれるといいですね。

気持ちや伝えたかったことをわかってもらえたとお子様が感じることは自己肯定感を高め、自分自身を冷静に見つめたり勇気をもらったり、主体的に行動を起こす力になります。

会話での大人の役割は、「いい聞き手、理解者になること」です。～SOULを大切に～

S=Silent 静かに O=Observation 観察する U=Understanding 理解する L=Listening 耳を傾ける
すべてがお子様を理解する手がかりになります。

車いすのメンテナンスをしましょう！

成長や緊張の状態により、車いすのベルトの位置や背もたれの高さが変わってきます。また、緊張が強い子どもたちは、車いすの一部に力がかかり、シートなども劣化しやすくなります。車いすの状態を定期的に確認しましょう。また、車いすについて気になることがありましたら、担任へお気軽にご相談ください。



冬休みも安全で健康な食事を

としましょう



休み期間中はご家庭で食事をとる機会が増えるかと思います。食事は健康な身体をつくるために必要不可欠な要素の一つです。学校での食形態をぜひ参考にいただき、安全で健康な食生活を送るように心掛けましょう。それでは、良いお年をお過ごしください。

車いす各部の名称

